経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県越谷市　越谷市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	19	対象	ド 透 未 訓 ガ	救 臨 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
343,062	32,126	非該当	非該当	７ ： １

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
481	－	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	－	481
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
343	－	343

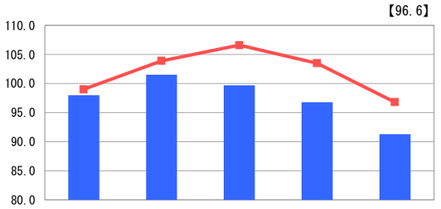
※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

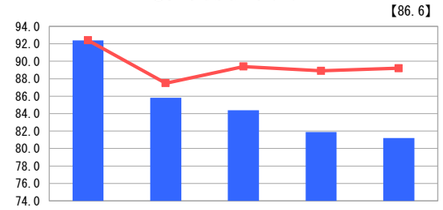
【96.6】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	98.0	101.5	99.7	96.8	91.3
平均値	99.0	103.9	106.6	103.5	96.8

②医業収支比率(%)

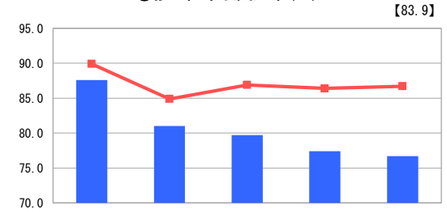
【86.6】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	92.4	85.8	84.4	81.9	81.2
平均値	92.4	87.5	89.4	88.9	89.2

③修正医業収支比率(%)

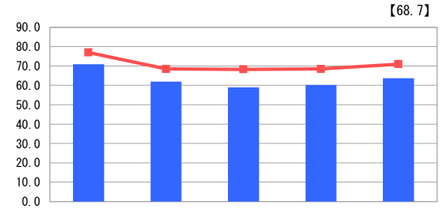
【83.9】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	87.6	81.0	79.7	77.4	76.7
平均値	89.9	84.9	86.9	86.4	86.7

④病床利用率(%)

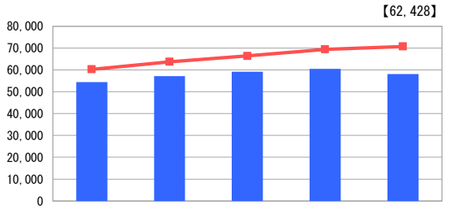
【68.7】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	70.9	61.9	58.9	60.1	63.6
平均値	77.0	68.4	68.2	68.4	70.9

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

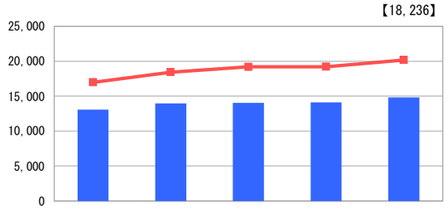
【62,428】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	54,423	57,131	59,170	60,470	58,111
平均値	60,271	63,766	66,386	69,418	70,803

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

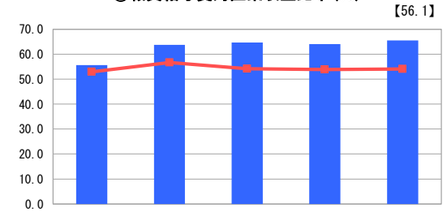
【18,236】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	13,070	13,950	14,038	14,101	14,814
平均値	16,979	18,423	19,190	19,216	20,167

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

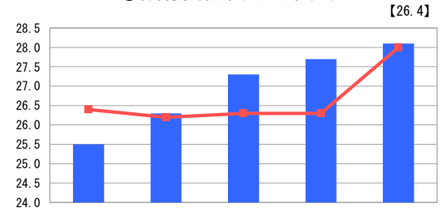
【56.1】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	55.6	63.8	64.7	64.1	65.5
平均値	53.0	56.7	54.2	53.9	54.1

⑧材料費対医業収益比率(%)

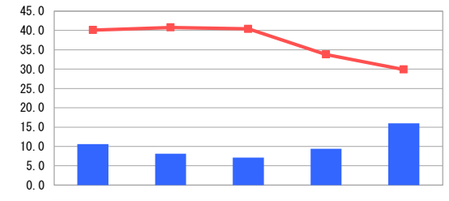
【26.4】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	25.5	26.3	27.3	27.7	28.1
平均値	26.4	26.2	26.3	26.3	28.0

⑨累積欠損金比率(%)

【54.5】

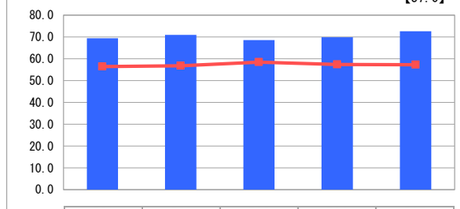


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	10.6	8.1	7.1	9.4	16.0
平均値	40.1	40.8	40.4	33.8	29.9

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

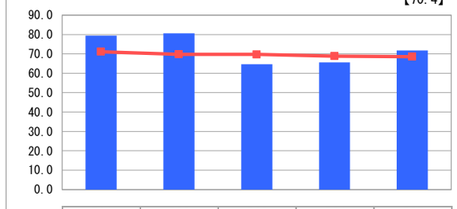
【57.0】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	69.4	70.9	68.6	69.9	72.6
平均値	56.4	56.8	58.5	57.4	57.3

②器械備品減価償却率(%)

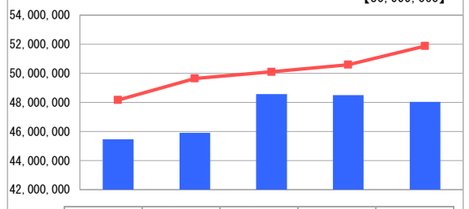
【70.4】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	79.4	80.6	64.7	65.6	71.8
平均値	71.1	69.8	69.7	68.8	68.6

③１床当たり有形固定資産(円)

【50,999,060】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	45,452,765	45,902,152	48,569,056	48,501,193	48,025,900
平均値	48,164,556	49,637,382	50,098,024	50,586,262	51,878,916

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

Ⅰ　地域において担っている役割

地域の基幹病院として急性期医療の役割を担っている。
令和６年１０月より紹介受診重点医療機関を取得した。医療連携・機能分化を図る中で、救急患者や紹介患者をスムーズに受け入れ、また後方の連携施設に逆紹介を行うことで、地域のハブとなる病院を目指す。特に東部医療圏において「救急医療」「がん医療」「小児・周産期医療」を担う役割が大きい。

Ⅱ　分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
【100%を下回っている理由】
新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって減少した入院・外来患者が、コロナ渦前の水準まで回復していないことに加えて、人件費の増加や、光熱水費や材料費の高騰のため。
②③医業収支比率、修正医業収支比率
【100%を下回っている理由】
上記①の理由等による収支差を補助金等に頼らざるを得ない状況であり、補助金等を含まない医業収支比率及び修正医業収支比率において大きく100%を下回ったと考えられる。
【類似病院平均値より低い水準となっている理由】
・病床利用率が低いため（④へ）
・患者単価（入院・外来）が低いため（⑤⑥へ）
④病床利用率
【類似病院平均値より低い水準となっている理由】
救急外来に消防局员を配置するなどの体制で、救急患者の積極的な受入れや、紹介患者の受入れを進めることで改善傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の影響を引きずり、低い改善率にとどまっている。
⑤入院患者１人１日当たりの収益
【類似病院平均値より低い水準となっている理由】
医師や設備の現状からICU/HCUなどの高度急性期病床を有していないことや、退院調整における人員不足で平均在院日数が長期化してしまっていることが考えられる。
⑥外来患者１人１日当たりの収益について
【類似病院平均値より低い水準となっている理由】
病状が安定した患者について逆紹介が進まないことで、紹介患者や救急患者の受入れに影響していると考えられる。
⑦⑧職員給与費対医業収益比率、材料費対医業収益比率
【類似病院平均値より低い水準となっている理由】
医業収益が増加しているが、上記①の費用増加が大きく職員給与費対医業収益比率、材料費対医業収益比率が高くなったと考えられる。

2. 老朽化の状況について

①②③有形固定資産、器械備品減価償却率、一床当たり有形固定資産
当院は昭和５１年の開院以来、平成５～９年度にかけて、大規模な増築工事や改修工事を行い施設の維持を図ってきた。
また、医療器械についても計画的な保守点検や買い替え等を行ってきたところである。
しかしながら、経年劣化による老朽化は否めないため、将来的な施設の建替等について検討し調査を行っている。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響による病院事業収益の減収は顕著で当院に限らず病院事業全体の問題となっている。補助金の打ち切りも病院経営へ大きな影響を与えた。医療提供体制を維持していくため、病棟編成や人材配置を見直し、収益性の向上を目指す。また、長期目標としては、安定した経営基盤を築くため、類似病院との比較による経営分析を行うとともに、第７期中期経営計画を策定し「収益確保対策」「費用削減対策」「医療の質の向上・患者サービスの向上」「管理運営体制の強化」の４項目を柱とする各種施策に取り組んでいく。